非金属チェーン　バイアスロン クイックイージー

取扱説明書

QUICK BIATHLON EASY

ご使用の前に本取扱説明書をお読みのうえ、必ずテスト装着を行ってください。

この製品は初回取付けの時はきつく感じられます。必ずご使用前にテスト装着をして低速で100～200m程走行してみてください。タイヤになじんで次回からの装着が容易になります。

取付方法・取外し方法・取付けのコツの動画は、付属のDVDをご覧ください。
弊社ホームページ（http://www.carmate.co.jp/biathlon/video.html）でも配信しています。

はじめに

このたびは、カーメイト非金属チェーン「バイアスロン　クイックイージー」（以下「バイアスロン」といいます）をご購入いただき、まことにありがとうございます。この取扱説明書は、「バイアスロン」を正しく安全にご使用いただくために、「バイアスロン」の特長と取扱方法を説明したものです。

すでに類似の製品をご使用になられた経験をお持ちの方も含めて、「バイアスロン」をご使用になる前に必ずお読みください。お読みになった後は、「バイアスロン」とともに保管し、ご使用中にわからないことや具合の悪いことが起きたとき読み返してください。本品を他の方に譲り渡す場合は、次にご使用される方のためにも本書を添えてお渡しください。また、本書をお読みになってご不明な点がございましたら、本書記載のサービスセンターにお問い合わせください。

「バイアスロン」を実際に取付・取外しする際は、裏面の装着説明書・取外し説明書をご覧ください。

セット内容

まずはじめに、下記のセット物が同梱されているかご確認ください。

- ●バイアスロン本体　2輪分　本体に左右の区別はありません。……1組
- ●ハンドル……2本
  取付、取外しのときに使用します。同時に左右の両輪を取付・取外し作業が可能です。
  （ハンドルを紛失した時は購入店でご注文、もしくは弊社サービスセンターにてお買い求めいただけます）
- ●軍手付き腕カバー（左右ペア）　取付、取外しの時に腕にはめて使用します。……1組
- ●耐水性 取扱説明書（本書）……1枚
  取付方法・取外し方法を記載しています。このシートは水や雪に濡れても破れません。
- ●取付、取外し説明DVD……1枚
- ●愛用者カード……1枚
- ●認定のしおり……1枚

株式会社カーメイト　〒171-0051東京都豊島区長崎5-33-11
http://www.carmate.co.jp/
★商品のお問い合わせは…カーメイトサービスセンター
TEL03-5926-1212(代表) FAX03-5926-1218

重要安全情報

「バイアスロン」のご使用にあたっては、本書の第1章「安全」の章に特に重要な情報が含まれています。また、以下の説明をご理解いただいた上で本書による指示／警告を守って、より一層の安全運転を行う必要があります。

「バイアスロン」は、自動車の駆動輪に装着して使用しますが、使用状況によっては自動車をコントロールすることができなくなって、死傷事故や物損事故を引き起こすおそれがあります。また、タイヤとバイアスロンとが空転して同様の事態を招いたり、車体を傷つけたりすることもあります。

第1章　安全

1.安全上の注意事項

「バイアスロン」の取扱いにあたっては、この取扱説明書をよく読んで指示に従ってください。
「バイアスロン」には装着不可能な車種（店頭のBIATHLON車種別適合表）およびタイヤ（本書7ページに記載）があります。
車の取扱説明書もよくお読みのうえでご使用ください。
「バイアスロン」の取扱いは、取付・取外し・保管に大別できます。
初めてご使用になるときは事前にテスト装着を行って、100～200m程度のならし走行を行ってください。
雪道走行では色々な危険がありますが、本書では、知り得る限りの危険防止と予防安全対策について記載します。

2.安全な走行方法

●スリップとスピンに注意

「バイアスロン」は車両の駆動輪に装着し、通常のタイヤでは走行不可能な雪路や凍結路を走行可能にするための補助器具です。一方、「バイアスロン」を装着していない方のタイヤは雪路や凍結路の上でのグリップ力が低下するため、前後のグリップ力のバランスが崩れてしまいます。

また降雪シーズンの走行では、乾燥路・雪路・融雪路・アイスバーン等その路面状況はさまざまに変化します。一見安全と思える路面でも局部的にアイスバーン（凍結路）になっていて、突如としてコントロール不能になり「スリップ」や「スピン」を起こす場合もあります。そこで、常に路面状況と周囲の状況に注意して走行してください。

●ゆっくり発進「急発進禁止」（特に上り坂ではエンジンの回転を上げ過ぎないように気をつけてください）。

駆動力をかけ過ぎると「バイアスロン」が空転してしまいます。アクセルをできるだけ軽く踏み、車が動きはじめたら徐々にアクセルを踏んでいき、「ゆっくり発進」を心がけてください。空転した場合はアクセルをゆるめてください。

●アイスバーン（凍結路）上では充分徐行する。

「バイアスロン」は滑り止めのトレッドと超硬マカロニスパイクピンによるグリップにより雪路を走行可能にしています。アイスバーンの上ではこのグリップ力が大幅に低下しスリップする危険性があります。アイスバーンの上を走行するときは充分スピードを落とし、ハンドルをしっかり握り走行してください。

●シャーベット（半融雪）上では低速で走行する。

シャーベットの上では雪が液状になりやすいためグリップ力が弱くなり滑りやすくなります。シャーベットの上を走行するときは、アイスバーン同様、充分スピードを落とし、ハンドルをしっかり握りできるだけ低速で走行してください。

●駆動方式の違いにより、車の挙動が大きく異なります。 4ページに述べる「駆動方式と車両の挙動」をお読み頂き、特性を理解の上で車両特性にあった運転をしてください。

●スノーモード（雪道運転に適した特性）に切替えることができる場合は、スノーモードで走行することをお奨めします。

スノーモードにつきましては、車備え付けの取扱説明書をご覧ください。

第2章　バイアスロンの概要

1.特長と機能

「バイアスロン」は、自動車のタイヤに装着することで、雪路の走行を可能にする非金属タイヤチェーンです。

「バイアスロン」は、（財）日本自動車交通安全用品協会規格「JASA432-2002」が規定する性能基準を満たす、次のような性能を持っています。

制動性：4輪普通タイヤ車（FWD車）の駆動輪にのみ装着した場合、4輪とも冬期用標準タイヤ（ブリヂストン製ブリザックREVO1）の場合との対比で圧雪路の場合105%以上、氷盤路の場合120%以上の制動性を持っています。
登坂性：圧雪路の勾配平均が12%及び氷盤路の勾配平均が8%を途中発進したとき、滑らかに登坂できる登坂性を持っています。
耐久性：600kmの融雪、圧雪路の走行テストを行っても装置の破損、スパイクの脱落および各部に異常が生じない耐久性を持っています。（社内評価では、1,000km継続走行しています。）
材　質：ポリウレタンエラストマー、超硬合金マカロニタイプスパイクを採用しています。

JASA 432 規格品 認定マーク　認定番号「JASA_21－001A」（財）日本自動車交通安全用品協会認定品

TÜV GS Geprüft ドイツ技術検査協会 認証取得　「バイアスロン」はTUV（ドイツ技術検査協会）が認証するGS（ドイツ機器安全法）マークの安全性基準を満たす性能を持っています。

2.適合車種

1 適合可能車種と適合条件

●ミニバン（下記参照）の前輪駆動車は車両の特性上、上り坂では駆動輪が空転を起こし易くなります。空転して発進できない場合は、アクセルを出来る限り「ゆっくりと踏んで発進」してください。

●1BOXで4輪共普通タイヤの場合、2輪のみの装着で走行すると、車の走行安定性が低下します。必ず4輪に装着してご使用ください。
●1BOXの車両で後輪がダブルタイヤの場合には、ご使用になれません。

BIATHLON Quick EASY 装着輪	2輪装着	4輪装着	装着不可
車種区分	乗用車 軽自動車 / ボンネットバン / ワゴン バン / ミニバン / 軽 1BOX ミニバン / 1BOX スッドレスタイヤ / ミニバンと1BOXの区分は下記表でご確認ください	1BOX 普通タイヤ	トラック 軽トラック ※QE15以降は装着可能です。

★主なミニバン／1BOX区分表（代表車種）　軽自動車は2輪装着になります。

メーカー ＼ 車種	ミニバン（運転席が前輪より後方にあるタイプ） 駆動輪2輪のみの装着でOK	1BOX（運転席が前輪の上にあるタイプ） 4輪ともスタッドレスタイヤを装着した車以外は、4輪ともバイアスロンの装着が必要です。（2セット必要）
トヨタ	アルファード・ヴェルファイア・エスティマ・ノア・ヴォクシー・タウンエース（H8.10～） タウンエースノア・ライトエース（H8.10～）ライトエースノア・グランドハイエース ツーリングハイエース・ハイエースレジアス・レジアス	タウンエース（～H8.10）・ライトエース（～H8.10） ハイエース・マスターエース・レジアスエースバン
ニッサン	エルグランド・セレナ・ラルゴ・NV200バネット	キャラバン・パネット・パネットラルゴ・ホーミー
ミツビシ	デリカD:5・デリカD:3・デリカバン（H23.10～） デリカカーゴ（～H11.11）・デリカスペースギア	デリカカーゴ（H11.11～H22.7）・デリカスターワゴン デリカバン（～H23.10）
ホンダ	エリシオン・オデッセイ・ステップワゴン・フリード	
マツダ	ボンゴフレンディ・プレマシー・MPV・ビアンテ	ボンゴ・ボンゴブローニィ
イスズ	ファーゴフィリー・フィリー	コモ・ファーゴ
ダイハツ	デルタ（H8.11～）	デルタバン（～H8.11）・デルタワイド（～H8.11）
スバル		ドミンゴ
スズキ	エブリイプラス・エブリイランディ・ランディ	

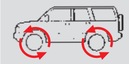
⚠注意　タイヤ銘柄：コンチネンタル コンチプレミアムコンタクト2は、速度超過をするとタイヤ側面に装着痕が特に付きやすいのでご注意ください。

2 空気圧

●タイヤの空気圧が自動車メーカーの指定値と異なっている場合、「バイアスロン」を装着しにくくなることがあります。安全性能を確保するためにも指定の空気圧になっていることを確認してください。

3.タイヤチェーンの装着輪

●「バイアスロン」は、自動車の駆動輪に装着して使用します。
●装着する自動車が次のどの区分に該当するか、車に備え付けの取扱説明書であらかじめ確認しておく必要があります。

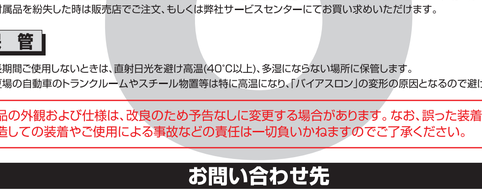
前輪駆動車（FWD車）	後輪駆動車（RWD車）	4輪駆動車（4WD車）
		 車の取扱説明書 確認
前輪に装着します。	後輪に装着します。	車種により異なる場合があります。車備え付けの取扱説明書に従ってください。

4.タイヤと車体とのスキマ

タイヤ、ホイールをその車の標準品以外のものに交換している車はスキマが足りなくて、「バイアスロン」を装着できないことがあります。また、メーカー純正のオプション部品でも、標準タイヤとホイールの組み合わせ以外の場合、あるいはサスペンションなどを改造している場合は、スキマが足りなくて、「バイアスロン」を装着できないことがあります。

確認事項

●「バイアスロン」を装着していない状態で、タイヤ周囲にフェンダーまわりで3cm以上、タイヤ裏側で2cm以上のすき間があることを確認のうえ、ご使用ください。
●前輪に装着するときには、車のハンドルを左右いっぱいに切った状態でもタイヤハウスとのスキマを確認してください。
●ABS装着車の場合は、コードなどが干渉しないことを確認してください。
●特にローダウン仕様車の場合は、ノーマル車に比べ、すき間が狭くなっている場合が多いのでご注意ください。
●リーフスプリング（板バネ使用）車の場合も同じです。



※タイヤの上側とフェンダーのすき間（上図のA部）が狭く、裏側接続部が接続しにくい車（特にローダウン車や輸入車）の場合は、ジャッキアップすればスキマが広がりますので装着が可能になります。

3.取扱上の注意事項

危険性に関する警告は、次の2段階に区分して表示してあります。
警告　警告事項を守らないと、死亡や重傷に至る重大な事故を起こすおそれがあります。
⚠注意　注意事項を守らないと、けがを負ったり、製品・車両が損傷するおそれがあります。

1 装着に関する安全情報

警告「バイアスロン」は両輪に装着してご使用ください。
●片輪だけに装着して走行すると、走行安定性が低下し自動車がコントロールを失うおそれがあります。
●また非駆動輪だけに装着しても効果はありません。

警告 切れたり、金属部分の変形した「バイアスロン」は使用しないでください。
●切れたり、金属部分が変形したままのものを使用するとバイアスロンが外れるおそれがあります。

警告 装着・取外しは安全な場所で行ってください。
●特に高速道路の路肩等での装着・取外しは死傷事故を引き起こすおそれがあり大変危険です。チェーン脱着所など安全な場所で装着・取外しを行ってください。

⚠注意 駐車時は必ず輪止め等で車が動かないように処置してください。
●前輪駆動車の多くは、プレーキのかかる後輪にバイアスロンが付いていないためサイドブレーキによる車の静止ができません。
「Pレンジ」に入れたり（MT車はギアを入れる）輪止めをしてください。

警告 ロックやフックが全て確実に装着してあることを確認してください。
●装着が不完全なままで走行するとバイアスロンが切れたり外れたりするおそれがあります。

⚠注意 装着作業中に同乗者が乗り降りすると、タイヤとタイヤハウスの間に手をはさむことがあるので注意してください。

2 装着時の走行に関する安全情報

警告「バイアスロン」を装着しての走行は、通常の走行に比較し走行安定性が低下します。雪路・非雪路にかかわらず、時速50km/h以下で「安全にコントロールできる速度」で走行してください。
●安全にコントロールできる速度とは…
乾燥路・圧雪路・凍結路・融雪路等その様々な路面状況に走行できる範囲の速度のことです。
あくまで路面の状況に合わせ、「安全にコントロールできる速度」で走行してください。
●安全にコントロールできる速度を超えて走行すると…
製品の耐久性が急激に低下します。製品が損傷したり、車両も損傷をしたりするおそれがあります。
直進性が悪くなりフラツキが発生し最悪コントロール不能になる場合があります。
製品が膨らみタイヤハウス内やサスペンション等と干渉し製品や車両が破損するおそれがあります。
特に高速道路を走行中は、周囲の車に流されて「知らないうちのスピードオーバー」傾向になりますので、ご注意ください。
50 km/h 以下「厳守」

警告 連続空転（ホイールスピン）は絶対に避けてください。
●特にエンジンの馬力が大きい車などは、少しだけアクセルを踏んだりもでも急に大きな駆動力がかかり、空転してしまうためバイアスロンが外れたり損傷したりするおそれがあり、車両も損傷する事があります。
●車が進まないときは要注意!!　いったんアクセルを戻してMT車は2速に入れゆっくり発進してください。AT車はできるだけ緩やかにアクセルを踏み込んでゆっくりと発進してください。スノーモードがある場合はそれをご使用ください。
連続空転

警告 スリップ事故は、雪路・非雪路にかかわらず突然に発生します。
●事故につながる条件全てを本書にて説明することは出来ません。
雪路・非雪路にかかわらず余裕を持ち「安全にコントロールできる速度」で走行してください。
また、「知らないうちのスピードオーバー」を防ぐために、スピードは必ず車のメーターを見て確認してください。

警告「急発進」・「急加速」・「急ブレーキ」・「急ハンドル」など「急」のつく運転操作は絶対に避けてください。
●トレッドやロック部、フックなどに無理なカがかかり寿命の低下や破損の原因となります。
●雪道でない路面での「急」操作は瞬間的にトレッドを摩耗させ、使用不能の原因となります。

警告 前輪駆動車と後輪駆動車で走行の特性が大きく変わります。
●前輪駆動車の場合バイアスロンを装着していない後輪のグリップ力が低いため直進中でも後輪が横滑りする事があります。
●後輪駆動車の場合バイアスロンを装着していない前輪のグリップ力が低いためカーブを曲がれなくなったり、直進安定性が低下したりします。
●バイアスロンを装着した場合は充分速度を落として運転してください。

警告 雪がなくなったら、速やかに「バイアスロン」を取外してください。
●雪や凍結がない乾燥路が続くときは、チェーン本体に路面との摩擦熱が溜まり、接地部やスパイクピンを傷めたり、チェーン本体のスパイクピンで横滑りを起こしやすいので、危険防止とチェーン本体及び路面保全のためにも取外しましょう。

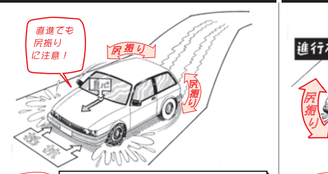
警告 空使用中はときどき装着状態を確認し、ロックやフックが全て確実に装着してあることを確認してください。
●装着が不完全になるとバイアスロンが切れたり外れたりするおそれがあります。

⚠注意「バイアスロン」を装着している時は、深雪（装着車の最低地上高以上）を走行しないでください。
●滑り止めを付けていても一定以上の深雪は走れません。
無理に深雪に入ると脱出不可能となることがあります。
●深雪中の無理な走行は空転を招き寿命の低下につながります。
またタイヤからの外れが起こることがあります。

⚠注意「バイアスロン」を装着している時は、非舗装路（オフロードまたは金属路）を走行しないでください。
●バイアスロンが切れたり、外れやすくなったりします。

4.駆動方式と車両の挙動

前輪駆動車（FWD車: front wheel drive）



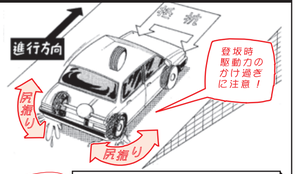
直進　突然の尻振りにご注意！
●FWD車は滑り止めを装着していない後輪が滑りやすくなります。直進中でも雪質や路面の凹凸やわだちなどによってバランスを崩し、スピンすることがあります。
●FWD車は下り坂や減速時は車の重心が前方へ移動するため、後輪が滑りやすくなります。下り坂走行中や停止しようとする場合はスピードに注意して、早めに減速しましょう。

カーブ　カーブの手前で十分減速！
●FWD車は前輪に抵抗がかかった状態でコーナーリングすると直進時と同様、後輪が滑りやすくなり危険です。カーブの途中でブレーキを踏んだり、急にアクセルを戻したりするとスピンすることがあります。
●カーブに入る手前で充分にスピードを落とし、アクセルを一定に保ちながら、ほぼ一定のスピードか、わずかに加速するぐらいの感じで曲がるのが安全です。

ブレーキ　ポンピングブレーキを使おう！
●FWD車は直進状態でもブレーキを軽く踏む（半踏み）操作をすると、後輪がロックし、急にグリップが失われてスピンすることがあります。
●ブレーキは「強く踏むゆっくり離す」を短いピッチで何度も繰り返すポンピングブレーキが効果的です。

もし滑ってしまったら……
●後輪がもし滑った場合は、後輪が滑った方向へすばやくハンドルを切り込みます（カウンターステア）この時あわてて急ブレーキをかけたりするとかえってスピンする可能性があります。
FWD車は駆動力のかかった状態が安定していますので、いくぶんアクセルを踏み込みながら立て直した方がよいのです。

後輪駆動車（RWD車: rear wheel drive）



直進　加速時、登坂時の尻振りにご注意！
●RWD車は駆動力をかけすぎると後輪が左右に振れる現象が起こります。特に登坂時やハイパワーな車ほどこの現象は大きい傾向があり、立て直しが遅れるとスピン状態になることがあります。
●急なアクセル操作や無用なギヤチェンジを避け、できるだけスムースな加速・登坂をすることが大切です。

カーブ　前輪のグリップにご注意！
●RWD車は滑り止めを装着していない前輪が滑りやすくなります。特にカーブにオーバースピードで進入するとハンドルを切っても、車はほとんど曲がらずにそのまま突っ込む危険があります。
●カーブに入る前に充分スピードを落とし、心もちエンジンブレーキをかけながら曲がるのが、安全な方法です。カーブの途中でブレーキを踏むと前輪がロックしてしまい、滑るばかりでかえって曲がれなくなります。

ブレーキ　ポンピングブレーキとエンジンブレーキを使おう！
●RWD車はブレーキを軽く踏む（半踏み）操作をすると、前輪だけがロックし、操縦不能になることがあります。
●ブレーキは「強く踏むゆっくり離す」を短いピッチで何度も繰り返すポンピングブレーキを使い、前輪が回転した状態でハンドルを操作してください。また、エンジンブレーキで後輪に制動力をかけて減速することが最も効果的です。

もし滑ってしまったら……
●RWD車で登坂中や加速時に後輪が左右に振れたらまずアクセルを戻しましょう。大きく振れた場合は、アクセルを戻すと共にすばやく振れた方向へハンドルを切り込み（カウンターステア）、姿勢を立て直してください。
●前輪が滑って操縦不能になった場合は、ブレーキを踏み続けることコントロールはできません。ブレーキを離すとコントロールできる場合があります。

4輪駆動車（4WD車）

飛ばし過ぎにご注意！

●4輪駆動車は雪道に強いと言われていますが、その性能を過信することは危険です。
FWD車やRWD車に比べ滑り出すまでの限界が高いことは事実ですが、その限界を越えて操縦不能になる際のスピードはFWD車やRWD車よりはるかに高いので、立て直しが全くできずに事故につながる危険が伴うことをご注意ください。

タイヤチェーン装着車輪は？
●車種により異なる場合がありますので、車備え付けの取扱説明書に従ってください。
●4輪駆動と2輪駆動の切替えスイッチの車では、4輪駆動状態で走行する事をおすすめします。

5.適合タイヤ

1 タイヤの種類とサイズ

装着してもよいタイヤ

タイヤ銘柄、摩耗度、空気圧、ホイールのリム幅等の条件によっては適合サイズであっても、ゆるいまたはきつい場合があります。ゆるい場合はタイヤとチェーンの間で空転（空回り）しますので、そのことをご了承の上走行には充分ご注意ください。

●オンロード専用タイヤ（普通タイヤ）
※45・50などの超偏平タイヤは「バイアスロン」の被りがタイヤ幅に対して浅くなるため連続空転などによる装置のズレが大きくなります。
あくまで緊急用として高速道路、市街地などの雪路でご使用してください。
※「バイアスロン」の被りが深く、かつタイヤ・ホイールの形状により「バイアスロン」とホイールが接触する状況では、ホイールに傷がつくおそれがありますので、ご了承のうえ必要最小限のご使用にとどめてください。
●オンロード・オフロード兼用タイヤ
※タイヤにより異なりますが、タイヤサイドのホワイトレターは走行により削れるおそれがあります。定期的に確認し摩耗が見られる場合には、スピードを落とし低速で走行してください。
●スタッドレスタイヤ　（ただし、一部サイズは普通タイヤと適合品番が変わるものがあります。店頭のBIATHLON車種別適合表またはカタログをご確認ください）
※特にスタッドレスタイヤはゴム質が軟らかく、チェーンを装着して走行すると側面が削れるという性質を持っています。スタッドレスタイヤに装着するときは、そのことをご了承のうえ必要最小限のご使用にとどめることをおすすめします。

装着してはいけないタイヤ

●オフロード専用タイヤ（「バイアスロン」のトレッドがタイヤのブロックのすき間に落ち込むようなタイヤ）
●オフロード専用の冬用タイヤ
●スパイクタイヤ

（イメージ図）

〈主な不適合タイヤ〉 ●下記タイヤはタイヤの構造・形状により、バイアスロンを装着できません。

メーカー	タイヤ銘柄	メーカー	タイヤ銘柄
ブリヂストン	DUELER M/T 672	BF-Goodrich	BAJA T/A
ブリヂストン	DUELER M/T 673	BF-Goodrich	MUD KING XT
ブリヂストン	DUELER M/T 674	BF-Goodrich	MUD-TERRAIN T/A
ブリヂストン	DESERT DUELER 744	BF-Goodrich	MUD -TERRAIN T/A KM
ブリヂストン	BLIZZAK W969	BF-Goodrich	MUD -TERRAIN T/A KM 2
ヨコハマ	MUD DIGGER Y812	BF-Goodrich	ALL -TERRAIN T/A
ヨコハマ	MUD DIGGERⅡ Y813	BF-Goodrich	ALL -TERRAIN T/A KO
GEOLANDAR	GEOLANDAR M/T	GOOD YEAR	WRANGLER MT
GEOLANDAR	GEOLANDAR M/T+	GOOD YEAR	WRANGLER MT/R
ダンロップ	GRAND TREK MT1	GENERAL	GRABBER MT
ダンロップ	GRAND TREK MT2 WIDE	GENERAL	GRABBER AT2
ダンロップ	GRAND TREK MT2 NARROW	Firestone	FIREHAWK RMT
トーヨー	TRANPATH M/T	Firestone	FIREHAWK ATX
トーヨー	NOMADIC MUD STAGE	ミシュラン	4×4 O/R XZL
オーツ	LANDAIR TA		

第3章　点検・補修・保管

1.洗浄と点検

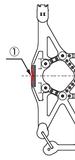
1 汚れの洗浄
水で汚れを洗い流します。

2 損傷の点検（チェック）
「バイアスロン」に損傷や切断がない事を確認します。
●トレッド部分が切れていない。
●トレッド部分が損傷を受けていない。
●金属部分が折れ曲がっていない。
●スパイク部の脱落がない。
少しでも異常と思われる箇所があった場合は、販売店に補修依頼または再購入をしてください。

スピードサイン

スピードオーバーで走行しますと、下図のようにトレッドの一部が極端に摩耗します。
●最初にトレッド端部（①部）が偏摩耗します。

①部断面
●そのままスピードオーバーで走行しますと②部およびの③部の摩耗が大きくなります。

トレッド中央
②部は特にトレッド中央側が偏摩耗します。


●スピードの超過（50km/hを超える速度）でのトレッド破損は有償修理になります。

2.使用限度および補修

1 使用限度
●平坦路を50km／hで走行した場合、雪路・非雪路を問わず約1,000kmの耐久性を有しております。
●「バイアスロン」は上記耐久性は考慮していますが、ご使用後には摩耗や損傷を確認してください。
下記事項の1項目でも当てはまる場合は、安全性能が低下します。
その際は速やかに新しい「バイアスロン」を購入または補修依頼をしてください。
①トレッドが1箇所でも切断している場合　⇒　切断部があるトレッドを新品に交換してください。
②2個以上のスパイクの脱落があったとき　⇒　脱落部があるトレッドを新品に交換してください。
③製品使用開始後、5年を経過したとき

2 補　修
●スピードの超過（50km/hを超える速度）でのトレッド破損は有償修理になります。
●連続的なスピードの超過（50km/hを超える速度）の場合は、トレッド自体に大きな損傷が加わることが多く修理できないことがあります。あらかじめご了承ください。
●「バイアスロン」のすべての構成部品は、補修パーツをご用意しています。（補修部品　工賃有料 ¥2,000～）
補修で再使用が可能かどうかは、「バイアスロン」を購入された販売店、もしくは弊社サービスセンターにお問い合わせください。
●付属品を紛失した時は販売店でご注文、もしくは弊社サービスセンターにてお買い求めいただけます。

3.保　管

●長期間ご使用しないときは、直射日光を避け高温(40℃以上)、多湿にならない場所に保管します。
●夏場の自動車のトランクルームやスチール物置等は特に高温になり、「バイアスロン」の変形の原因となるのでお避けて保管します。

製品の外観および仕様は、改良のため予告なしに変更する場合があります。なお、誤った装着やご使用、改造しての装着やご使用による事故などの責任は一切負いかねますのでご了承ください。

お問い合わせ先

株式会社カーメイト　〒171-0051 東京都豊島区長崎5-33-11
http://www.carmate.co.jp/
★商品のお問い合わせ・補修パーツの注文は…カーメイトサービスセンター
http://www.carmate.co.jp/toi/
TEL03-5926-1212(代表) FAX03-5926-1218